



平成 27 年 8 月 29 日 (土) に新潟県柏崎市  
西山町の<sup>うしろだに</sup>後谷ダムで、ロウソクの灯りでダ  
ムをライトアップする「<sup>まんとうえ</sup>万灯会」が開催され  
ました。後谷ダムは柏崎周辺 (二期) 農業水  
利事業により築造され、平成 20 年 12 月の試  
験湛水により初満水になったことを記念し、  
ロウソクの光によるライトアップする万灯  
会を開催しました。これをきっかけとして、  
平成 23 年から毎年夏に、後谷ダムでの万灯  
会を定期的で開催しており、本年度で 6 回目  
の開催となります。

万灯会の開催に当たっては、ダム地元の  
後谷集落、別山コミュニティ振興協議会、柏  
崎土地改良区、柏崎周辺地区国営土地改良推  
進協議会、ダム湖に隣接する宿泊施設「ゆう  
ぎ」、柏崎周辺農業水利事業所で組織された、  
「後谷ダム万灯会実行委員会」を中心に、準  
備を進めてきました。

万灯会当日に使用するキャンドルグラス  
は、ダム近隣の小学生や柏崎農業まつり、草  
生水まつりの来場者に作成をお願いしてお  
り、本年度は絵を描いた色紙をガラス瓶に巻  
き付けることで、カラフルな行灯のように仕  
上げました。この色鮮やかなキャンドルグラ  
スは約 600 個用意され、堤体天端の中央部  
から堤体を彩ります。

また、万灯会の開催に際し、来場者が心地  
よく万灯会に参加できるようにするために、  
ダム堤体やその周辺の草刈りも毎年行って  
います。本年度は、地元集落や関係機関職員  
あわせて約 50 名と、柏崎周辺地区における地域貢献活動の参加事業者約 40 名と大勢  
の方が協力して担当範囲ごとに 4 日に渡って草刈りを行いました

そうして迎えた万灯会本番の日。前日から降り続いていた雨も、皆の努力に応え



事前準備、隅々まで草刈りをしました



みんなに絵を描いてもらいました



「万灯会」の光文字

るかのようにお昼にはピタリと止み、涼しい風が吹く心地よい天気となりました。関係スタッフは午後4時から作業を開始し、受付テント、看板の設置や、約1500本のキャンドルグラスの配置等を協力して行いました。

辺りも暗くなってきた午後6時30分。いよいよ後谷ダム万灯会の開催です。

開催に際し、柏崎土地改良区の三富佳一理事長より「人口も減って地域が寂しくなるような状況の中、こうして皆で集まり、気持ちの通じ合うことができる万灯会を今後とも続けていきたい。」とのご挨拶をいただきました。その後、来場者によるキャンドルグラスの点火式を行い、堤体に並べられたキャンドルグラスに一斉に点火し、ろうソクの光に照らされた堤体の姿がゆっくりと浮かび上がってきました。すべてのキャンドルに光が灯される頃には、雲の切れ間から月灯りも万灯会に加わり、後谷ダムは幻想的な雰囲気に包まれました。訪れた人たちは至る所で美しい風景や家族との時間など、それぞれの万灯会の思い出を写真に収めていました。こうした写真を応募できるフォトコンテストも実施しており、グランプリ作品は来年度のポスターに使用されることとなっております。

また、午後7時20分からは地元のコーラス教室「西山コーラスたんぼぼ」の皆様（19名）によるコンサートが行われました。ダム湖に響く美しい歌声に多くの来場者が足を止め特設ステージの前には大勢の観客が詰めかけました。また、団員によるフルートの生演奏や独唱も披露され、最後まで大勢の観衆を魅了し、光と歌声に包まれた万灯会は幕を閉じました。

来場者へのアンケートからは「また来年も来たい」「これからも続けてほしい」という声とともに、「今年はダムが活躍して下流の農家に役立っていると聞いた。地域の活性化に後谷ダムが貢献していることを知ることができて嬉しい」との声も聞かれ、地域の水源としての後谷ダムの役割が認知されていることが伺えました。

当事業所としても、後谷ダムが地域の財産として愛されながら、地域の活性化につながるよう、今後とも後谷ダム万灯会を応援していきたいと考えています。



ダム堤体の輪郭が浮かび上がります



色鮮やかなキャンドルグラス



美しい歌声がダム湖に響き渡りました